

どっと原価シリーズ

予算明細自動バックアップ
マニュアル

【目 次】

I. 概要	1
1. 予算明細自動バックアップ	1
II. 操作方法	2
1. 環境設定 バックアップ	2
2. 予算入力 明細自動バックアップ	3
3. 予算入力 明細復旧	6

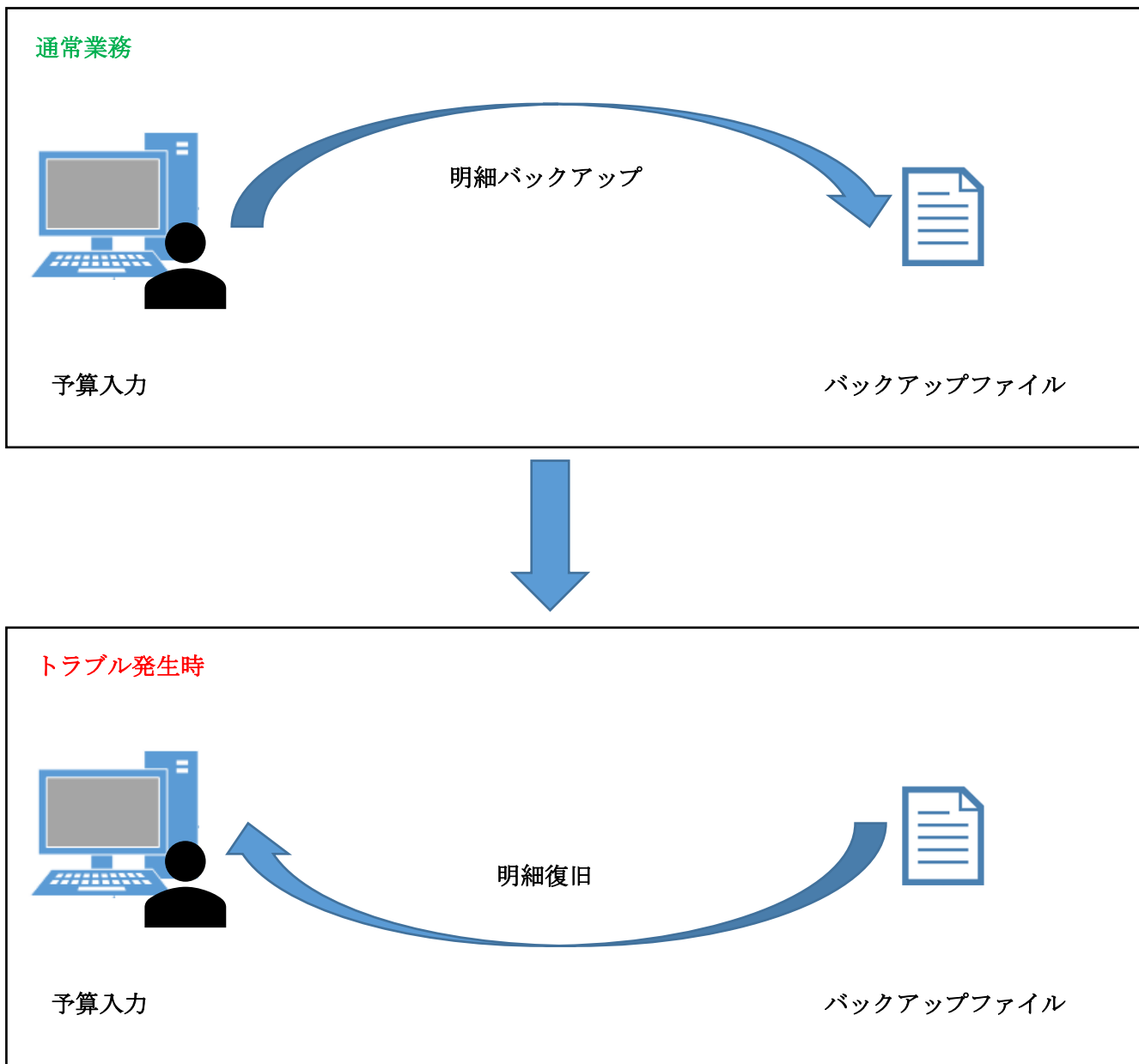
I. 概要

1. 予算明細自動バックアップ

[予算入力(明細)]で入力しているデータに対して自動的にバックアップ処理を行います。

また、バックアップ処理で作成したバックアップファイルを元に、明細データを復旧できます。

バックアップのタイミングは[環境設定(バックアップ)]の設定に準拠した一定時間ごとの自動実行のほか、参照・複写等の機能を使用したときも実行します。



＜「予算明細自動バックアップ」の使用上の必須条件＞

「予算明細自動バックアップ」を使用するためには、どっと原価シリーズのバージョンが Ver3.00.000 以降である必要があります。

II. 操作方法

1. 環境設定 バックアップ

1) 「環境設定(バックアップ)」について

ナビメニュー：[導入] — [環境設定]

明細自動バックアップを行うかどうか、明細自動バックアップの実行間隔を設定します。

① 明細バックアップ バックアップを実施する ※見積入力、予算入力の明細が対象です。

② 実行間隔 15 分ごとに実施

実行間隔を入力します。

<① 「明細バックアップ」について>

[見積入力]や[予算入力]で明細を入力時、自動的に明細バックアップを行うかどうかを設定します。
「バックアップを実施しない」「バックアップを実施する」のどちらかを選択します。

<② 「実行間隔」について>

予算明細の自動バックアップを何分置きに実行するかを設定します。
分単位で「5」「10」「15」「30」「60」から選択します。

< 注意点 >

- ① 複数の会社データを管理している場合
 - 1) 予算明細自動バックアップを有効化する設定は会社データごとの設定であるため、会社データを複数管理している場合は、全ての会社データの[環境設定(バックアップ)]で同じ設定を行って下さい。
 - 2) 特定のユーザーが操作している場合だけ自動バックアップを行うという設定はできません。
- ② 初期値について
 - 1) 「明細バックアップ」は「バックアップを実施しない」、「実行間隔」は「15」です。

2. 予算入力 明細自動バックアップ

1) 明細自動バックアップ

ナビメニュー：[予算] – [予算入力]

明細自動バックアップを実行するパターンは大きく分けて以下の2つです。

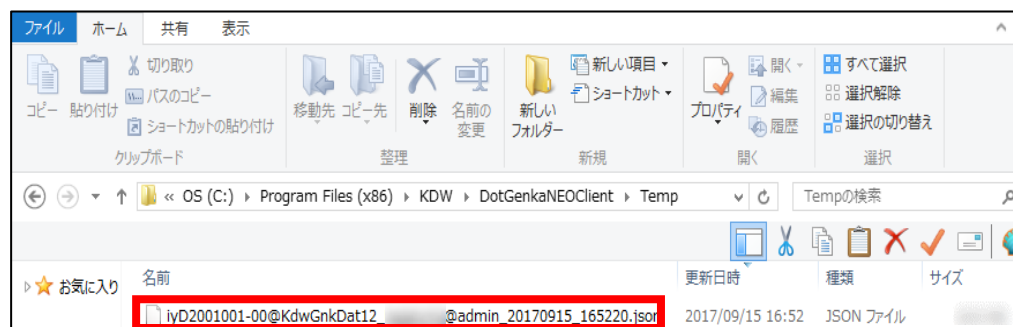
- ① 予算明細を表示した直後から登録が完了するまでの間、[環境設定(バックアップ)]で設定した「実行間隔」の時間が経過するたびに実行します。
なおバックアップ中は入力できません。
- ② 以下のツールバーおよびサブツールバーの機能を使用した直後に実行します。
 - 1) 「予算複写」
 - 2) 「見積参照」
 - 3) 「単価変更」
 - 4) 「変更へコピー」(『予算履歴管理テンプレート』で使用可能)
 - 5) 「予算データ読込」(『予算読込テンプレート』で使用可能)

＜注意点＞

- ① 明細自動バックアップを実行しない状況
 - 1) [予算入力(予算書)]を表示している場合。
 - 2) [予算入力(明細)]に新規行を除く明細を一行も入力していない場合。
 - 3) 明細表示後に明細を編集していない場合。

- ② バックアップファイルの保存先
 - 1) C:\Program Files (x86)\KDW\DotGenkaNEOClient\Temp フォルダです。
 - 2) どっと原価シリーズ を実行しているコンピュータの上記フォルダに保存するため、リモートデスクトップ接続で利用している場合はサーバーの上記フォルダに保存します。
 - 3) 保存先は変更できません。

- ③ バックアップファイル名の規則
 - 1) iy 工事番号@会社データ番号_コンピュータ名@ログインユーザー名_作成日時.json
 - 2) リモートデスクトップ接続の場合
コンピュータ名は「接続先サーバー名.接続元コンピュータ名」になります





< 注意点 >

④ バックアップファイルの削除

1) 以下のタイミングでバックアップファイルは削除されます

1. 予算データを登録したとき
2. 予算データを削除したとき
3. [予算入力]を閉じたとき
4. [予算入力]操作中に『どっと原価シリーズ』を閉じたとき
 - 『どっと原価シリーズ』の右上に表示されている「×」をクリック
 - 『どっと原価シリーズ』の左上に表示されている「ファイル」→「終了」をクリック
5. 登録確認ダイアログで「いいえ」を選択したとき
(編集中の予算 データを破棄したことになるため、編集中のバックアップファイルを削除します。)

2) 削除するバックアップファイルは、以下の内容が一致するバックアップファイルです。

工事番号、会社データ番号、コンピューター名、ユーザー名

ただし、[予算入力]で「明細復旧」に使用したバックアップファイルは、削除されません。不要な場合は、直接削除してください。

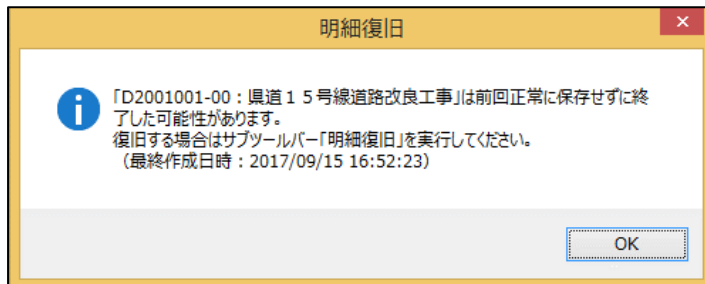
3. 予算入力 明細復旧

1) 明細復旧について

ナビメニュー：[予算] - [予算入力]

予算明細を表示した際に、バックアップファイルが存在する場合は、下記のメッセージが表示されます。

<既存の予算に対してバックアップファイルが残っているときの通知>



上記のメッセージが表示された予算で、自動保存された明細を復旧する場合は、以下の「明細復旧」を使用します。

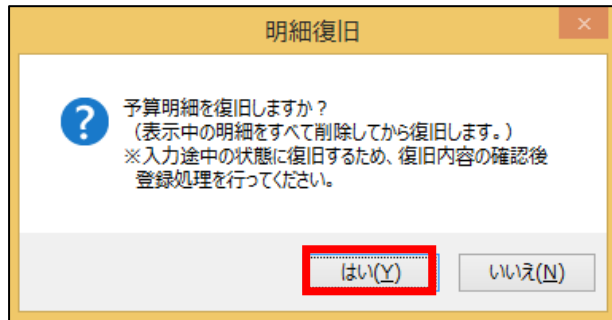
「明細復旧」ボタンは、サブツールバー左側の[1]をクリックすると、表示されます。

<[予算入力(明細)]-明細復旧>



「明細復旧」を使用した場合、以下の流れで復旧処理を行います。

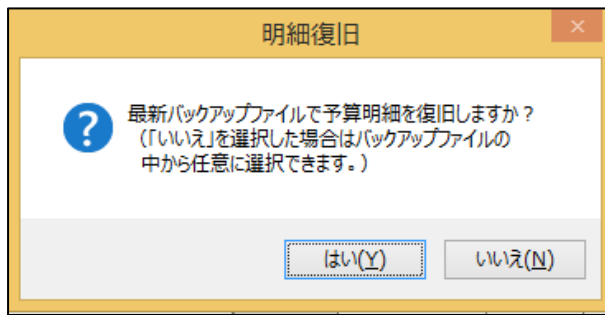
<明細復旧確認ダイアログボックス>



明細の復旧を行う場合は、「はい」を選択します。



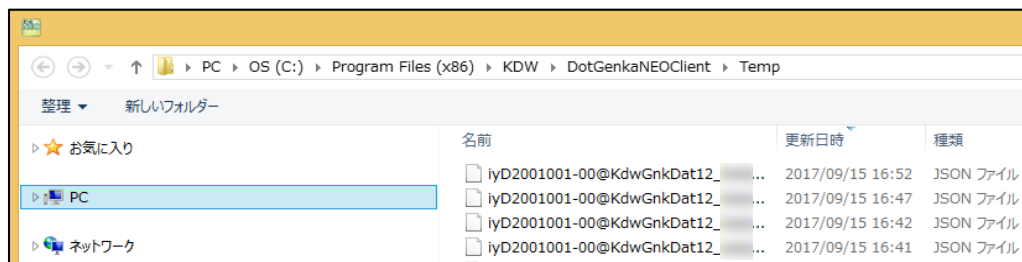
<バックアップファイル確認ダイアログボックス>



「はい」を選択した場合、
明細自動バックアップで作成したバックアップファイルのうち最終作成日時のファイルを元に明細を復旧します。

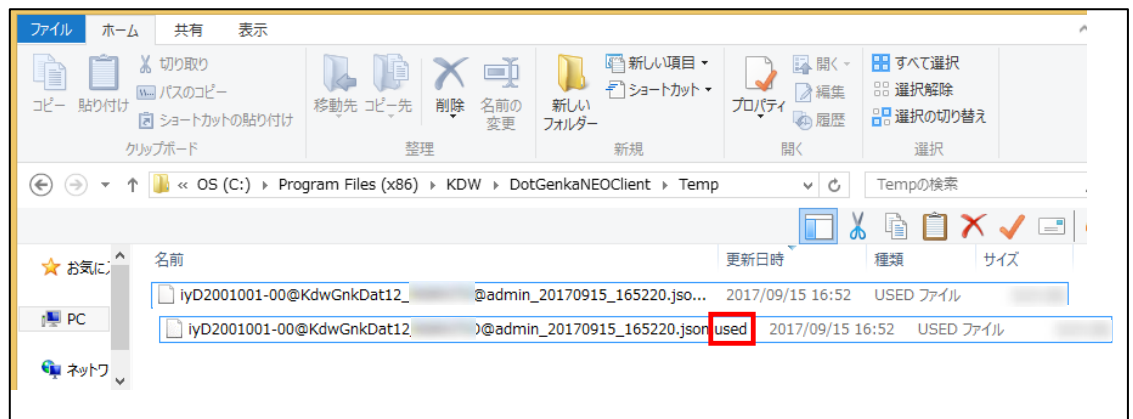
「いいえ」を選択した場合、下図のとおりエクスプローラーガイドが表示され、任意に選択したバックアップファイルで処理を続行します。

<エクスプローラーガイド>



< 注意点 >

- ① 「明細復旧」が実行できない条件
 - 1) 明細表示後に一度でも明細を編集した場合は、「明細復旧」を実行できません。
誤って編集した場合は、登録せずに「表示」を実行し、編集情報を破棄してください。
- ② 「明細復旧」に使用できるバックアップファイルについて
 - 1) 既存の他の工事の予算のバックアップファイルを元に
明細を復旧することはできません。
- ③ 明細復旧後に必要な処理について
 - 1) 明細復旧後はバックアップファイルから明細の状態を戻しただけで、
保存されていません。
 - 2) 明細を確認し、問題ない場合は「登録」を実行してください。
- ④ 明細復旧後のバックアップファイルについて
 - 1) 「明細復旧」に使用したバックアップファイルは .used 拡張子に変更され残ります。
 - 2) ファイル名から .used 拡張子を削除することで
再度、「明細復旧」に使用することは可能です。



初 版 2017 年 10 月 5 日

第 4 版 2023 年 4 月 18 日

製作・著作 株式会社 建設ドットウェブ

〒920-8203

石川県金沢市鞍月 4 丁目 115 番地

金沢ジーサイドビル 3 階

<https://www.kendweb.net/>

ご 注 意 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
本書の内容に関しては訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。
